



日本赤十字社茨城県支部

赤十字ボランティア通信

地域奉仕団の活動紹介



常陸大宮市赤十字奉仕団 防災研修を開催

10月26日、感染防止の観点から市内5地区から人数制限を設け27名の団員が参加し、防災訓練を実施しました。訓練は、テントや簡易ベッドを組み立てる設営班と炊き出しをする炊事班に分かれ、避難所支援を想定し、実践的に行いました。

参加団員から「資機材の運用の習熟を図るために今後も研修（訓練）を実施した方が良い」「市全体ではなく地区毎に実施したい」などの意見がありました。



笠間市赤十字奉仕団 イベントで日赤PRや募金活動

笠間市が開催した「ふるさとまつり in かさま」(11月20日)、「フェスティバル in 冬の陣」(12月12日)に参加し、日赤のPR活動や募金活動を実施しました。

募金活動では、子どもたちからも寄付の協力をいただき、とても心温まる思いになりました。

両イベントで集まった募金(約3万5千円)は、赤十字の活動資金として、日本赤十字社茨城県支部に寄付しました。



高萩市赤十字奉仕団 市民の憩いの場として子ども食堂をオープン

7月1日に子ども食堂「ニコニコハウス」をオープンし、毎週月水金土曜日に市民の憩いの場として開放し、9月からは、毎月第3火曜日に70歳以上の高齢者へお昼のお弁当を提供しています。

利用者から「お弁当の彩りがよく、美味しい」と好評です。また、参加団員から「次はあれを作ろう、これを作ろうと楽しみが増え、利用者とお話しするのも楽しい」などの声を聞いています。

現在は、コロナ禍の影響もあり利用者が減っていますが、PRしながら、地道に活動を続けていきたいと思います。



特別奉仕団の活動紹介

看護奉仕団 定例会を再開

イベント等での臨時救護のほか、月1回の定例活動として、赤十字講習で使う三角巾のアイロン掛けや、パンフレットなどの折り込み作業等を行っています。

コロナ禍の休止で約半年ぶりとなった11月の定例活動では、17名が参加し、寺島委員長から「コロナ禍によるイベントの中止等で看護技術を活かす臨時救護は難しい状況ですが、少しでも赤十字活動が円滑に進められるよう、茨城県支部のお手伝いをしていきたい」との声をいただきました。



茨城県青少年赤十字賛助奉仕団 防災教材研修会に参加

令和4年1月20日に茨城県支部で開催した「青少年赤十字指導者向け防災教材研修会」に参加し、日赤が作成した小・中・高の児童・生徒向け防災教材の活用方法を学びました。

参加団員から「日赤の防災教材は、指導方法やワークシートがまとめられ、使いやすい教材になっている」、「多くの学校が活用することで、子どもたちの防災意識向上につながってほしい」、「自分も奉仕団員の一員として、普及活動に協力したい」などの所感が寄せられました。



「赤十字奉仕団基礎研修会」を開催

12月5日、7日、茨城県支部で赤十字の基礎知識や、ボランティア活動で意識すべきことなどを学ぶ「赤十字奉仕団基礎研修会」を開催し、2日間で73名の奉仕団員が参加しました。

参加団員から「学んだことを地域の奉仕活動にしっかりと活かしたいと思う」などの所感が寄せられました。



講義を担当した指導講師のコメント

感染状況が落ち着いた時期に開催でき、指導する立場としても、改めて赤十字について確認する機会を得ることができました。コロナ禍が続く状況だからこそ、周りの奉仕団員と協力して赤十字活動を継続していきたいと思います。

皆さんの友人を誘って一緒に地域貢献をしましょう！

赤十字活動は、寄付者の皆さまやボランティアの皆さまによって支えられています。

あなたも、"困っている人、苦しんでいる人の役に立ちたい"という思いを行動に移してみませんか？

茨城県支部では、市町村ごとに組織された「地域赤十字奉仕団」、大学生を中心とした「青年赤十字奉仕団」、アマチュア無線や語学などの専門技術や職業を活かした「特殊赤十字奉仕団」、防災に特化した「防災ボランティア」が活躍しています。

ボランティアに関心のある方は、日本赤十字社茨城県支部組織振興課までご連絡ください。

※市町村によっては、奉仕団が未結成の場合があります。

※入団にあたり特殊技能の資格や知識・技術の所持が必要な奉仕団があります。



皆さまのご支援(ご寄付)が赤十字活動を支えます

赤十字奉仕団の育成や、災害救護、救急法等の普及などの様々な活動は、皆さまからの寄付を財源としています。特に各市町村に配分された活動資金は、地域で行う奉仕活動や救急法等の普及に活用されています。

ご協力方法

お振込：本紙に附属した払込取扱票（ゆうちょ銀行）をご利用ください。

クレジットカード：ホームページからお手続きください。[赤十字 寄付](#) [検索](#)

遺贈（遺言やあ続財産による寄付）：資料を送付のうえ、詳細をご説明します。

この払込取扱票は、ご寄付を強制するものではありません。
ご賛同いただきましたら、ご支援いただけます。

各欄の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

99 東京		払込取扱票									
		口座記号番号									
加入者名	日本赤十字社茨城県支部	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
料金	※	備考	免								
ご依頼人・通信欄	<p>おところ ※ おなまえ ※ お電話番号</p> <p>◎お礼状と領収書が不要な場合は<input checked="" type="checkbox"/>をお願いします。 □不要 ◎赤十字奉仕団に所属の方は、所属する奉仕団に<input checked="" type="checkbox"/>をお願いします。□地域奉仕団 □特殊奉仕団</p>										
裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号東第53203号）	日附印										
これより下部には何も記入しないでください。	料金										
	備考										

振替払込請求書兼受領証

00100-0		振替払込請求書兼受領証									
		口座記号番号									
加入者名	日本赤十字社茨城県支部	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
料金	※	備考	免								
ご依頼人	<p>おなまえ ※</p>										
様	日附印										
料金											
備考											

切り取らないでお出しください。

この受領証は、大切に保管してください。

「もったいない」、「せっかくなら」からはじまる寄付活動

書籍やCD、ゲームソフトなどで不要な物品をブックオフコーポレーション株式会社に贈与し、その買取価格相当額を様々な団体へ寄付できるサービス「キモチと。」をご存知でしょうか。

日本赤十字社は、「キモチと。」の寄付先として登録しており、これまでに多くの方々からのご支援（ご寄付）をいただきました。

自宅で眠る書籍やCDなどで不要なものがありましたら、ぜひこれを機会にご利用ください。

利用方法は、簡単です。WEB申込のあと、物品を箱に詰めるだけ。

配送ドライバーが無料で集荷に来てくれます。

サービスの詳細やお申込みは、ブックオフコーポレーションのサイトをご覧ください。



茨城県支部の赤十字活動は、SNSでも紹介しています！
掲載する奉仕団の活動報告を募集しています。（審査有り）

Facebook



Instagram



発行



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

茨城県支部

所在地：水戸市小吹町 2551 / 電話：029-241-4516

資金の有効活用のため、この受領証をもって日本赤十字社の受領証にかえさせていただきます。

なお、本受領証は、免税証明として利用いただけます。

払込みいただいた金額は個人について、所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく寄付金に該当し、法人については、法人税法第37条第4項に基づく寄付金に該当します。

〒310-0914 日本赤十字社
茨城県支部 組織振興課
電話 029-241-4516

（ご注意）
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ATMではご利用いただけません。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にお預けになるときは、引換券に預り証を必ずお受け取りください。

・この用紙による、払込料金は無料となります。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

町内会・自治会を通じた協力のほか、ご都合にあった方法で受付ております。
この払込取扱票は、ご寄付を強制するものではありません。

この場所には、何も記載しないでください。